

授 業 科目名	【 G カリキュラム】 国際経済論 I ※本年度は開講せず 【 E F カリキュラム】 特殊講義（国際経済論 I）		その他参照	開講年次	【 G】 3 【 EF】 3	単位数	【 G】 2 【 EF】 2
科目区分	専門科目：【 G】 教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・公民・－）／【 EF】 教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・公民・－）						
担当形態	単独	【 G】 教員の免許状取得のための（－・－・公民必修・－）科目 【 EF】 教員の免許状取得のための（－・－・公民必修・－）科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	戦後世界経済の変容と問題点			担当者	渡辺 克博		
授業概要	【概要】 第二次世界大戦後において、世界経済が抱える諸問題についての理解を深める。						
	【到達目標】 世界の国および地域の経済社会の理解を深める。						
履修条件	特になし						
教科書・ 参考書	【教科書】 必要に応じて資料を提供 【参考書】 『入門 国際経済』 中北徹 ダイヤモンド社						
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 講義の進め方						
	予習：国際社会が抱える問題点の把握			復習：世界経済の動きの理解			
2	世界経済の制度的枠組みの変容						
	予習：19 世紀の世界の理解			復習：第一次世界大戦からの世界経済			
3	第二次世界大戦後の世界経済						
	予習：戦前の世界経済の把握			復習：戦後の世界経済の枠組み			
4	比較優位の原理						
	予習：比較優位とは何か調べる			復習：国際貿易の制度と歴史			
5	I M F ・ G A T T						
	予習：I M F の成立について調べる			復習：G A T T の成立			
6	W T O の概要						
	予習：関税率の引き下げの把握			復習：非関税障壁の理解			
7	W T O から F T A へ						
	予習：自由貿易地域から関税同盟への把握			復習：F T A へのアプローチ			
8	U S A の経済と財政赤字						
	予習：ドル防衛政策の破たんの理解			復習：金融危機の始まり			
9	石油危機と世界経済						
	予習：O P E C の把握			復習：世界経済の混乱			
10	第 3 世界の登場						
	予習：発展途上国の経済の理解			復習：途上国が抱える諸問題の整理			
11	世界が抱える諸問題① 貧困について						
	予習：世界の貧困について調べる			復習：絶対的貧困とは			
12	世界が抱える諸問題② 食糧について						
	予習：世界の食糧問題について調べる			復習：U S A の農業の把握			
13	世界が抱える諸問題③ エネルギーについて						
	予習：世界のエネルギー問題について調べる			復習：経済成長と環境についての理解			
14	日本の役割						
	予習：日本の対応の変化の把握			復習：政府開発援助の理解			
15	日本の F T A						
	予習：外国人労働力についての議論			復習：日本の外交戦略			
評価方法	筆記試験（70%）および授業への参加態度等（30%）を考慮して総合的に評価。ただし受講生の人数等の関係で試験に替えてレポートないし、その他の方法を取ることがある。その場合講義中に説明する。						
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解した者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。また理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、その理解が不十分であると思われる者には、その程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など評価不能の場合は「F」とする。						
その他	※G 刈：法【選択必修修（サ）】ｽﾎﾟ【選択必修修（サ）】情【選択必修修（サ）】／EF 刈：法【-】ｽﾎﾟ【-】経【-】						